

地域密着型通所介護・運営推進会議（議事録）

平成29年9月28日（木）

18:00 ~ 19:30

デイサービスセンター共楽苑にて

会議出席者

- ・佐々木俊博 委員（益田地域介護支援専門員協会前会長・くしろ宝寿苑施設長）
- ・品川弥次 委員（西南地区児童民生委員協議会会長）
- ・中島保 委員（美濃地区社会福祉協議会前会長）
- ・豊田繁雄 委員（二条地区連合自治会長）
- ・永井安行 委員（利用者代表）
- ・佐田惇子 委員（利用者代表）
- ・岡崎トメ子 委員（利用者代表） わかくさ福祉会より
- ・石川恵里佳 委員（益田市高齢者福祉課） ・岡崎正興・又賀信子

① 「地域密着型通所介護 運営推進会議」の意味について

（1）「地域密着型通所会議 運営推進会議」の位置づけについて再確認を行った。

「地域密着型通所介護は、要介護者の住み慣れた地域での生活を支えるため、身近な市町村で提供されることが適当なサービス類型として創設された。運営推進会議の設置については、おおむね6ヶ月に1回開催することとなっている。話し合いの内容としては、活動状況の報告や評価、必要な要望や助言等を受けるといった内容となる。会議の記録を作成し、求めがあれば公表しなくてはならない。記録は、2年間の保存が義務づけられている。」

（2）昨年度末の議事録の解説

今回初めて参加された利用者代表がおられたため、前回の議事録を使ってふりかえりを行った。前回は、アンケート結果の報告が主テーマであったので、再度、アンケートの実施状況の報告を行った。

② 改修工事の概要について

図面を配布し、改修工事の概要を説明した。（前後の時間帯に現場見学）。

【意見交換】

- ・ 重度要介護者の方への入浴サービスが可能となる。完成すれば浴槽に入れる仕組みとなる。
- ・ 1人でも多く、重度の方を受け入れる責任はある。
- ・ 次回の会議は見学を兼ねてしたらよいのではないか。
- ・ トレーニングルームが同一建物内にあるのは良いことだと思う。
- ・ トレーニングルームとしては狭いので、マシンを置くとすれば配置に工夫が必要ではないか。
- ・ 今のトレーニングルーム（別棟）はどうなるのか→老朽化しているので、事務所・サロンとして使うことを検討している。益田市医師会の二条診療所としても機能しているので、即座に壊すわけではない。

